



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2025/4/20 Rd-4 モビリティリゾートもてぎ

天候：晴れ 気温：26°C 出走台数：22台

観客数：19日(土)12,000人 20日(日)14,000人 合計26,000人

2レース制で開催される第2大会2日目Rd4モビリティリゾートもてぎ決勝。

日曜日のシリーズ第4戦は37周(最大75分)、タイヤ交換ピットストップウインドウ規定のないレースフォーマットで開催される。

2番グリッドスタートの太田選手は素晴らしい加速でポールスタートの山下選手に並びかかるが攻略ならず2番手で、牧野選手はポジションキープの3番手。このスタート直後、1コーナーでは接触によるコースアウト車両が発生し、昨日に続いてオープニングラップからセーフティカー(以下SC)導入となった。ここで太田選手はオープニングラップでピットイン。メカニックのミスない作業で山下選手の前でコースに戻ることに成功し、タイヤ交換グループの首位となる。ステイアウトした牧野選手は、5周目終了時点でSCがピットインすると、タイヤ交換グループとのタイムマージンを稼ぐべくファステストラップを更新しながらアタックモードで周回する。

1分35秒台のタイムを維持しながら走る牧野選手だったが、20周目が近づくとタイムが36秒台に落ちてしまう。後ろを走る岩佐選手と、タイヤ交換組首位の太田選手とのタイム差を考え、チームは23周目に牧野選手をピットに呼びタイヤ交換を済ませる。

牧野選手はまだタイヤが冷えた状態のピットアウト周、3台にオーバーテイクを許したが、タイヤが温まるとすぐにそれらを抜き返し、トップ太田、2番手牧野そして3番手に岩佐選手のオーダーでレースは終盤へ。

2番手牧野選手は太田選手を捉えるべく力走するが、岩佐選手もタイムアップ。

太田選手は首位を守り、牧野選手も岩佐選手を抑え、第3戦に続いてワンツーフィニッシュを決めた。

5：牧野任祐選手 2位

太田選手がSC下のオープニングラップでピットに入る選択をしたので、自分としてはステイアウトする戦略をとりました。レース前に様々なシミュレーションを検討したのですが、これである意味迷いがなくなったので、やるべきことに集中して走りました。

僕自身は昨日からの2連勝とはなりませんでしたが、チームとして最高の結果だと思います。昨年初優勝した次戦オートポリスでも最高レースをしたいです。

6：太田格之進選手 優勝

昨日に続いてチームワンツーフィニッシュ、しかも今日は僕が優勝と、最高に嬉しいです。ステイアウト組とのマージンもマネジメントし、完璧な仕事ができました。

チームの強さをこの後のシーズンでも維持し、チームメイトとバチバチにチャンピオン争いがしたいですね。